



SEA TO SUMMIT® とは？

モンベルが各地の自治体と連携し、実施している「環境スポーツイベント」。自然とふれあい、環境について考え、自分たちをとりまく自然環境を再認識することを目的としています。

SEA TO SUMMIT® 各大会のプログラム

1日目 環境シンポジウム

初日の環境シンポジウムでは、多彩なゲストとともに、人と社会と自然との共生をテーマに、アウトドア・アクティビティや自然環境保護について考えます。



○基調講演：「極地から地球がみえる」

中山 由美（なかやま ゆみ）／朝日新聞社会部記者 地球環境を探る“極地記者”。

第45次隊では女性記者で初めて日本の南極地域観測隊に同行し越冬。第51次隊でセールロンダーネ山地の氷上で40日間暮らし、報道で初めて隕石探査の取材に成功。

北極・グリーンランドは2008年夏の米国観測チームに同行、12・14・17年は日本の研究者による氷河や海水の観測、15年はエスキモーの犬ぞり猟に同行取材し、16年にはノルウェー北部のスヴァールバル諸島などを取材した。

外報部時代に、9・11同時多発テロ実行犯の生涯を追った「テロリストの軌跡」で新聞協会賞を受賞。

○トークセッション：「鳥海山のつながり」

中山 由美（なかやま ゆみ）／朝日新聞社会部記者

辰野 勇（たつの いさむ）／SEA TO SUMMIT®連絡協議会理事長、モンベルグループ代表

1947年大阪府生まれ。1975年に株式会社モンベルを創業、現在代表取締役会長。アイガー北壁日本人第2登、カヤックでの黒部川源流～河口までの初下降など、数々の記録を持つ冒険家でもある。身障者カヌー大会「パラマウント・チャレンジカヌー」の開催や、阪神淡路大震災、東日本大震災時の「アウトドア義援隊」結成など、社会活動、災害支援活動などに力を注ぐ。山岳雑誌『岳人』編集長も務める。

安藤 伸一（あんど う しんいち）／秋田魁新報社デジタル部長

1969年秋田市生まれ。青山学院大学で山岳部に入り、長期休暇のほとんどを南北アルプスで過ごす。米国留学中にコロラド・ロッキーを縦走、ヨセミテ溪谷でロッククライミング。

1996年秋田魁新報記者となり、環境問題や農林漁業を取材。趣味で始めたスキューバダイビングを仕事に生かし、ハタハタの群れや戸賀湾に沈む北前船のいかりを水中撮影。

第51次南極観測隊に同行した際は、湖沼の潜水観測に参加。「コケボウズ」と呼ばれる貴重な生物を水中撮影した。2018年からデジタル部長としてウェブサイト「秋田魁新報電子版」の編集に携わる。

2日目 アクティビティ

大会2日目は、カヤック・自転車・登山の3種目アウトドアスポーツで海・湖から山頂を目指します。